

★ ☆ ☆ ☆ ☆ クリスマスを楽しく ☆ ☆ ★ ☆ ★

冬休みの子供さんと一緒に、飾りつけの工夫を試してみたいかが？
親子の会話がはずみ、きっと良い思い出になることでしょう…



ベンジャミン—
赤トウガラシ—



ポインセチア



サンゴミズキ
ヒムロ、ヒイラギ
マツボックリ、クルミ
マツ、サンキライ等



ヒイラギ

オアシス

ワラ・マツ
イナホ
マツボックリ
水引

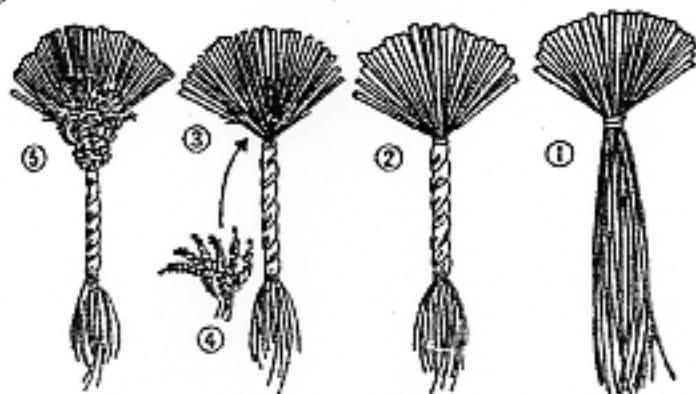
材
料



● スエヒロ形の正月飾り

-「冬・花づくし」講社-より

つくり方



①ワラの上三分の一のところを、ワイヤーでまとめます。②ワイヤーより下、三分の一をよって綱を作ります。下三分の一は残します。③上三分の一は扇形に広げ、とめた部分にマツの枝を。④上にイナホを。⑤水引をマツボックリと共に。

12月の園芸

年末からお正月にかけて花を飾って楽しみたいものです。

冬咲きの花がいろいろと園芸店に出っていますが、買い求めた鉢は上手に育てましょう。

1. ポインセチヤ

クリスマスを飾る代表的なものです。赤いのは花ではなく、苞(ほう)といい葉の変形したものです。花は苞の中心に小さな粒のようについています。よくみると面白い形をしています。

高い温度と日光を好みますから、暖かく、ガラス越しの日光に当たる所に置きましょう。

10度以下の温度に合わせると葉が黄色くなって落ちますから、店から持ち帰る時には気をつける必要があります。

水は2～3日に1回たっぷり与えます。肥料が切れると葉が黄色くなったり、赤い苞(ほう)が長持ちしなくなりますから、週1回、千倍の液肥を与えてください。

2. シクラメン

シクラメンはあまり高い温度は好みません。日中は20度以下、夜は10度前後がよい。暖房のきいた暖かい住宅ではうまくいかないものです。

花をつぎつぎと咲かせるためにつぎのことに注意しましょう。

日光に良く当てること、水は鉢土の表面が乾いたらたっぷり与えること、週1回、千倍の液肥を与え、ほかに月1回粒の肥料を2～3粒土の中に軽く押し込んでおきます。

傷んだ花や黄色みをおびた葉はその都度、茎をつまんでねじるようにしながら引き抜いておきます。

水やりの時、鉢のまわりに与え、球根の頭をぬらさないよう気をつけます。

1月の園芸

1. プリムラ

高い温度は好みません。やや低温の所で、できるだけ日光に当ててやります。日光不足では花色が悪くなり花数も少なくなります。

つぎつぎと花を立てるので週1回の液肥も続けます。

傷んだ花はその都度摘み取ったり、花茎を切り取ったりします。

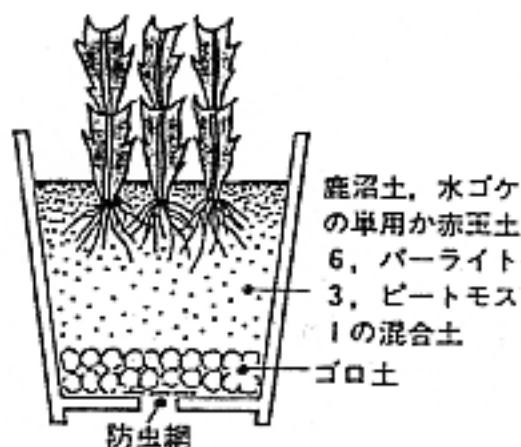
水を好みますから、乾き過ぎないうちにたっぷり与えましょう。

2. シャコバサボテン

もうほとんど花は終わっていることでしょう。花がしおれたら実を付けないように元から取っておきます。

そのまま育てると来年は伸びすぎてしまいますから、上から二節つけて切り取ります。切り取った茎葉は挿して増やしましょう。下図のように挿して暖かい所に置くと3週間くらいで根がでます。一月くらいたったら薄い液肥を与えてそだてます。秋には花がつくようになります。

親株も先に新しい芽が見えてきたら、液肥を与えて育てます。



冬期間寄せ植えで楽しむ

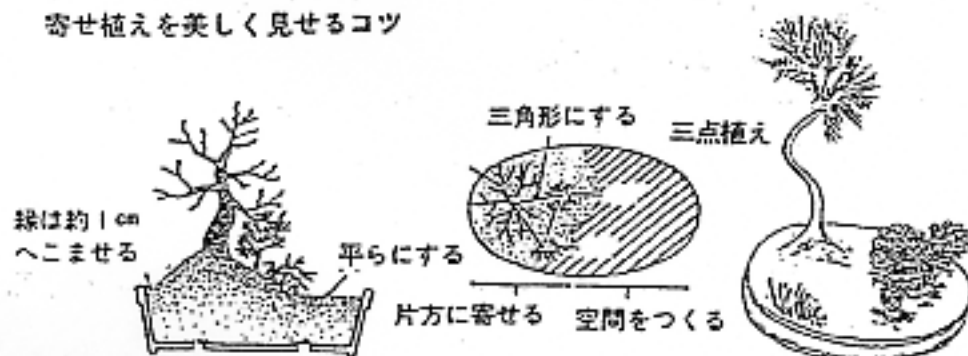
これからは室内で過ごすことが多くなる時期です。

和風、洋風の寄せ植えで冬期間を楽しく過ごすのも一つの方法です。

和風寄せ植え

梅、松、笹、フクジュソウなどを使って下図のように植え込みます。

寄せ植えを美しく見せるコツ



洋風寄せ植え

アジアンタム、スパシフィラム、カラジューム、オリヅルラン、アイビー、ヘデラ、小型の広葉樹（矮性のもの、針葉樹でも良い）などで植え込みます。

例としては次図の通り。

水を含ませて、よくこねたケト土で山をつくり、頂上に凹を設け、一般の用土を詰めてアジアンタムを植えつける。ケト土の表面にコケを張ると、より自然さが出る。



白いバイ皿を利用して、春の庭のイメージを再現した。バランスよく株を寄せて、株元を山ゴケなどで隠す。植物は、プリムラ、スノードロップ、アイビーなど。



△容器

ガラス、金属、陶器、木など。

△用土

保水力があってくずれにくい赤玉土、パーミキュライト、ビートモス、珪酸白土など。
化粧用として砂、小砂利、コケ、バークなど。

ビニールで包んだポットを置いて、石で見えなくなるように組む